

大阪市感染対策支援（OIPC）ネットワークの
新型コロナウイルス感染症対策の取り組みについて

OIPC副会長、大阪警察病院 感染管理センター長
水谷 哲

大阪市感染対策支援（OIPC）ネットワークとは？

OIPC ; Osaka city Infection Prevention and Control

大阪市感染対策支援（OIPC）ネットワーク

発足：2019年4月1日

【目的】 地域の医療機関同士が連携し、院内感染発生時にも各医療機関が適切に対応できるよう相互に支援する体制を構築する

【役割】

- 感染対策の情報共有に関すること
- 医療機関等から感染予防および発生時の助言・支援に関すること
- 感染対策研修会に関すること
- その他感染対策に関すること

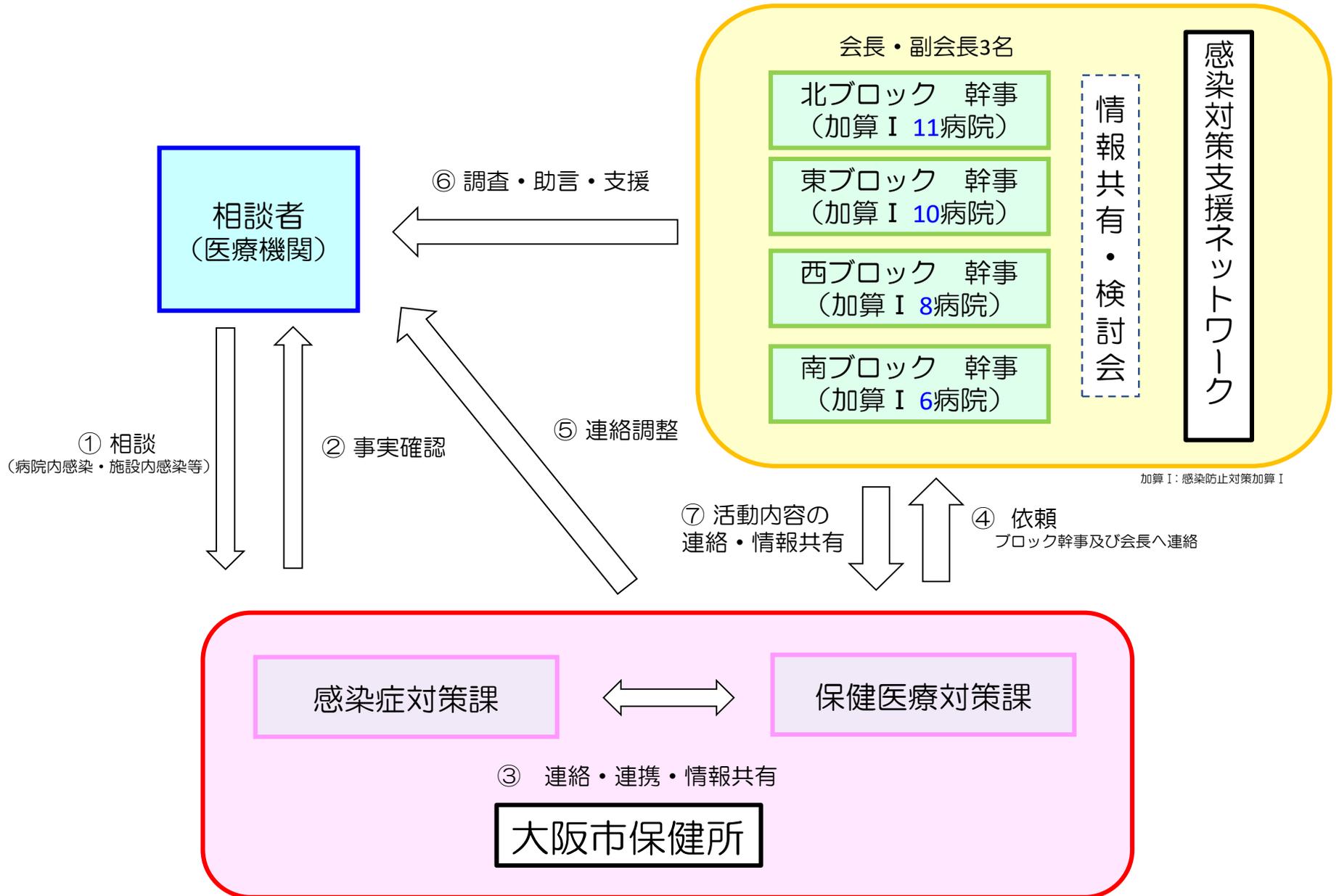
【構成】

- 市内全病院（176病院）で構成
[感染防止対策加算Ⅰ 35病院、加算Ⅱ 58病院、その他83病院]
- 北部、西部、東部、南部の4ブロックに分ける
- 各ブロックに幹事病院2病院

【活動】 大阪市保健所と連携し、各ブロックの感染防止対策加算Ⅰ病院が中心に、加算Ⅱやその他の病院を支援する

- 感染対策のための研修会
- 院内感染発生施設への支援

大阪市感染対策支援（OIPC）ネットワークの流れ





西ブロック
8病院

北ブロック
11病院

東ブロック
10病院

南ブロック
6病院

大阪市感染対策支援(OIPC)
ネットワーク

感染防止対策加算 I 取得病院	35施設
● 500床未満	24施設
● 500床以上	5施設
★ 500床以上の3次救急受入れ	3施設
★ 900床以上の3次救急受入れ	3施設

大阪市感染対策支援（OIPC）ネットワークの構成

会長	大阪市立大学附属病院（南ブロック）
副会長	大阪府済生会中津病院（北ブロック） 日本生命病院（西ブロック） 大阪警察病院（東ブロック）

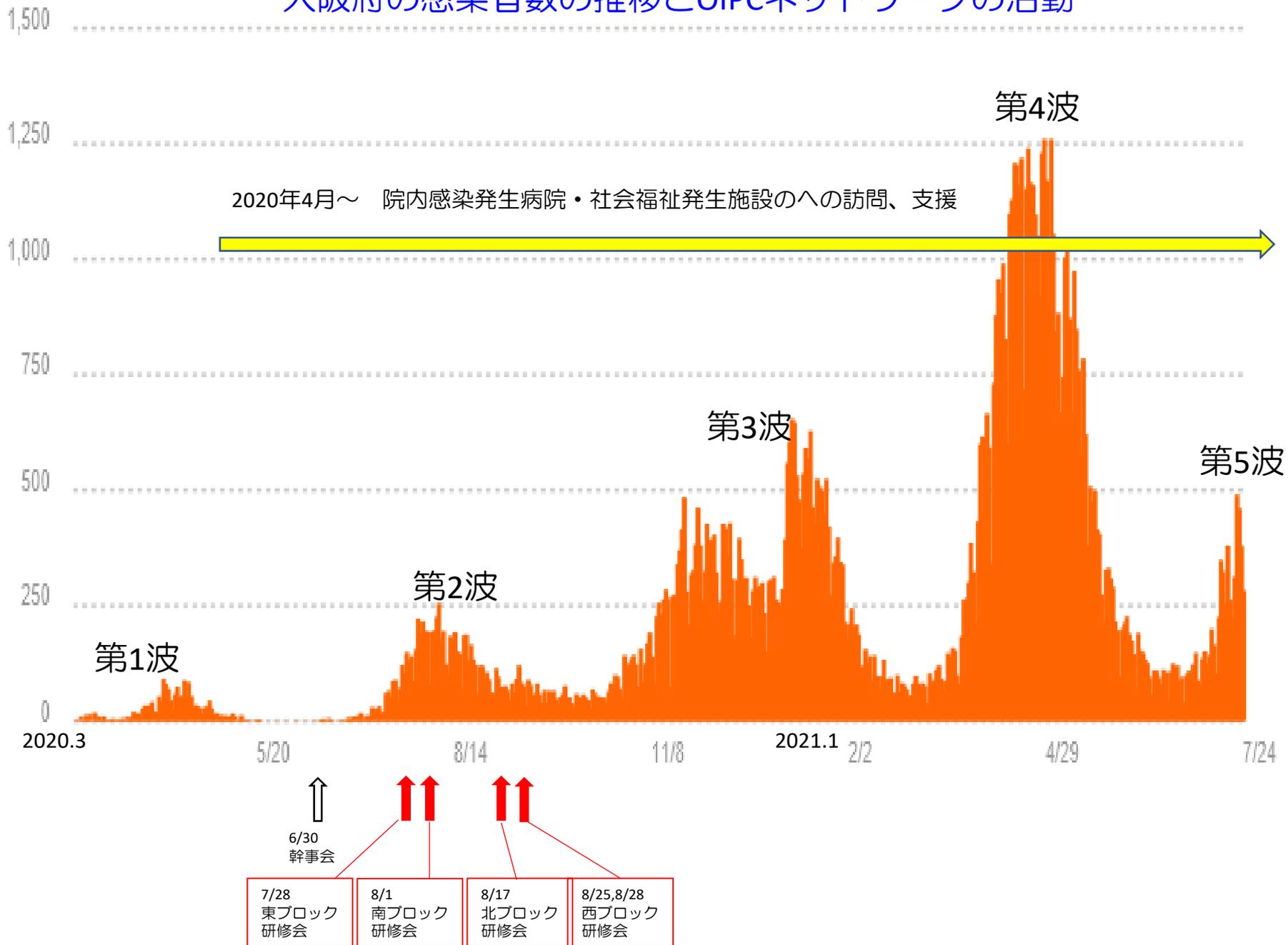
	北ブロック	東ブロック	西ブロック	南ブロック
	北区、都島区、淀川区 東淀川区、旭区	中央区、天王寺区、浪速 東成区、生野区、城東区 鶴見区	福島区、此花区、西区 港区、大正区、西淀川区	阿倍野区、住之江区 住吉区、東住吉区 平野区、西成区
	11病院	10病院	8病院	6病院
感染防止対策 加算Ⅰ取得病院	○済生会中津病院 ○大阪市立総合医療センター	○大阪警察病院 ○大阪医療センター (2021.7月以降 変更)	○日本生命病院 ○大阪病院	○大阪市立大学医学部附属病院 ○大阪急性期総合医療センター
感染防止対策 加算Ⅱ取得病院	14病院	21病院	8病院	15病院
その他の病院	12病院	32病院	12病院	27病院
合計 176病院	37病院	63病院	28病院	48病院

○:幹事病院（2021.6月時点）

新型コロナウイルス感染症対策の取り組み

- 各ブロックの研修会
- 院内感染発生病院・社会福祉発生施設への訪問、支援

大阪府の感染者数の推移とOIPCネットワークの活動



新型コロナウイルス感染症に関する研修会の内容

各ブロック毎に幹事病院と大阪市保健所が中心に実施

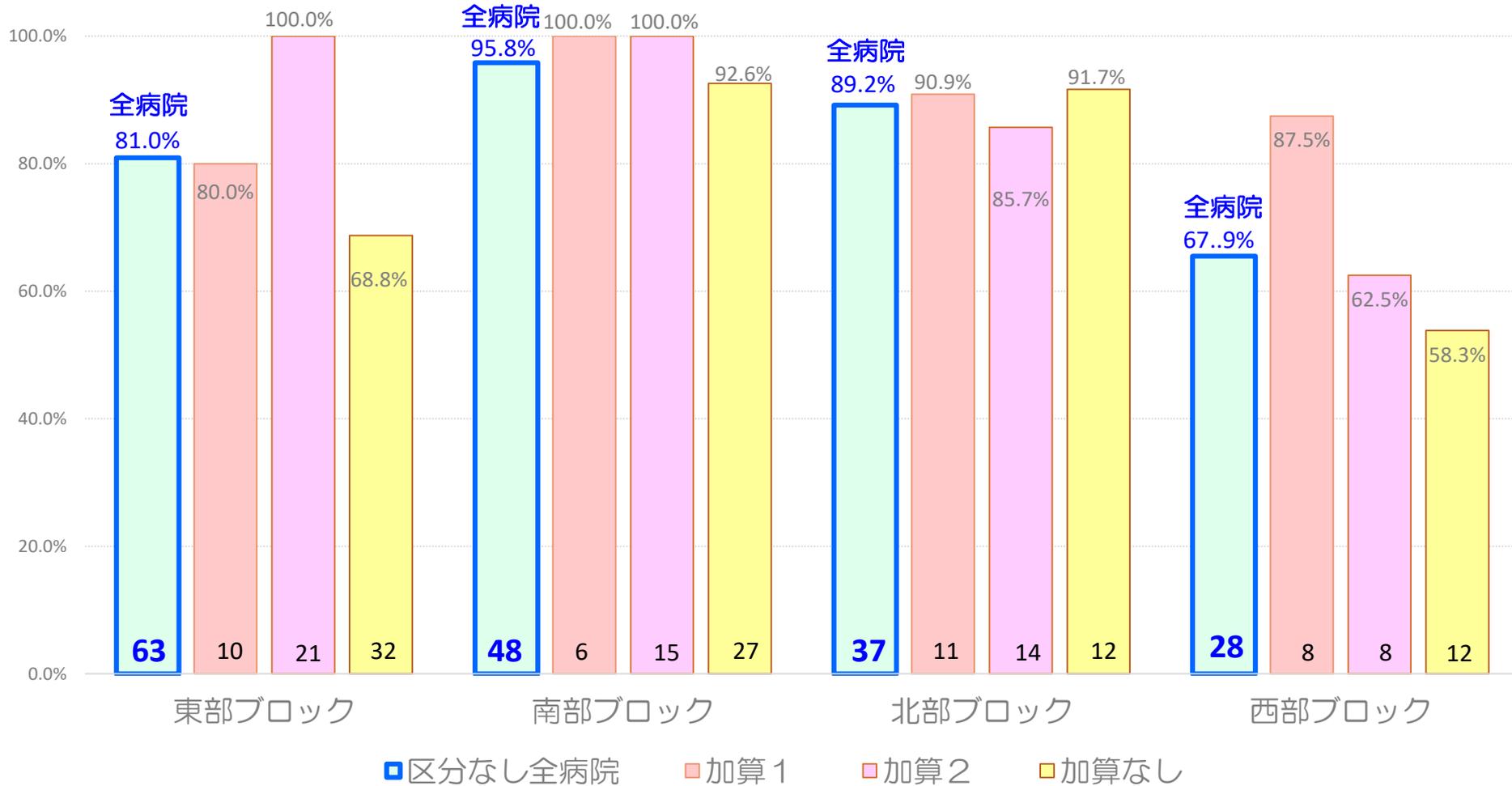
- 内容
- ① 新型コロナウイルス感染症の概要
 - ② 大阪市内での院内感染事例
 - ③ 新型コロナウイルスを想定した院内感染対策
 - ④ Q&Aコーナー

講師

内容①…感染防止対策加算Ⅰ病院の医師（幹事病院）
内容②…大阪市保健所医師
内容③…感染防止対策加算Ⅰ病院の医師、感染制御担当看護師
内容④…講師全員

実施日、会場…各ブロックごとに設定して実施

ブロック別 病院数に占める出席病院数の割合



- 出席率…67.9%～95.8% (全体 149/176=84.7%)
- 参加者アンケート結果
 「非常に興味深い」「興味がある」の合計が各ブロックともに80～95%
 「大変良かった」「よかった」の合計は各ブロック90%に達し、満足度が高かった

大阪 施設クラスターにおける施設数、陽性者及び施設内での死亡者の状況

	第5波	第4波	第3波	合計
	(6/21~7/21)	(3/1~6/20)	(10/10~2/28)	
施設数	5	128	137	270
(うち、死亡のあった施設数)	0	11	5	16
陽性者数	73	1,919	2,509	4,501
死亡者数	0	40	12	52
(うち、7/15~7/21の死亡者数)	0	5	—	5

※施設は高齢者施設関連、障がい者施設関連を含む

※施設数、陽性者数は「6 クラスター等の発生状況」公表ベース、

死亡者数は「4 死亡・重症の状況（前日24時まで）」公表ベース

※死亡者はコロナ関連死（調査中含む）のみ

令和3年7月26日

大阪府健康医療部保健医療室感染症対策企画課

新型コロナウイルス院内感染発生病院・社会福祉施設への支援状況 (令和2年度)

	派遣元病院数	派遣施設数・回数 [病院]	派遣施設数・回数 [社会福祉施設]
北ブロック	2	4施設・5回	1施設・1回
東ブロック	2	1施設・1回	3施設・4回
南ブロック	3	14施設・19回	5施設・5回
合計	7	19施設・25回	9施設・10回

28施設・35回

社会福祉施設の種類や施設毎の特殊性により状況が大きく異なる。対応者の職種も異なる施設を訪問して感染管理の視点から問題点を見出し整理して、具体的な対応策を施設対応者と相談しながら提示する

感染対策支援活動の実践報告の経過

大阪警察病院

派遣依頼

- 大阪市保健所より電話で派遣依頼の打診
- 対応可能であれば大阪市より派遣依頼書が送付されてくる(後日)

事前打ち合わせ

- 当日までに保健所とメールで情報交換。当日は車中で直近の情報交換
- 施設の種類、発生の概要、日程調整、保健所又はDMATの介入の経過などについて

施設職員と情報交換

- 発生状況、発生者への対応、PCR検査実施状況、人員配置の状況
- ゾーニングの状況、防護具着用の実際
- 施設職員の質問への回答 (例；陽性から復帰した職員及び入所者の対応と配置,対応解除の期間など)

施設ラウンド

- ゾーニングの確認
- 環境清掃方法の改善
- 廃棄物、洗濯、配膳・下膳方法
- 手指消毒の薬剤や入れ物の管理と設置場所
- 防護具着脱場所の指導
- グリーンゾーンのスタッフステーション内を確認
- 物品の管理

施設へフィードバック

- リスクを明確にして対応策を提示
- 感染状況が不明又はコントロールできていない場合は、行政によるPCR検査の範囲を決めて実施できるように調整する
- 今回のラウンドで改善したほうが良い点を実現できるよう指導

今後もOIPCネットワークは
大阪市保健所と密に連携をとり、
情報共有をしながら、

大阪市全医療施設を対象とした
感染症研修と病院や社会福祉施設で
感染が発生した場合（クラスター）
等、
各ブロック毎に加算Ⅰ病院からの
施設支援をおこなっていく